

「政策合意等における4年間の目標数値」の進捗状況

	指標名	18年度の現状	19年度の現状	20年度の現状	21年度の現状	22年度の目標	22年度の現状(見込み)	22年度末までの目標	達成見込
【元気な社会】 44項目									
1	[教育] 学級編制基準の見直し	—	(小学1、2年生) 36人以上の学級に非常勤講師配置 (小学5年生) 40人学級 (小学6年生) 36人学級 (中学1年生) 30人学級 (中学2、3年生) 36人学級	(小学1、2年生) 35人以上の学級に非常勤講師配置 (小学5、6年生) 36人学級 (中学1年生) 30人学級 (中学2、3年生) 35人学級	(小学1、2年生) 34人以上の学級に非常勤講師配置 (小学5、6年生) 36人学級 (中学1年生) 30人学級 (中学2、3年生) 34人学級	(小学1、2年生) 33人以上の学級に非常勤講師配置 (小学5、6年生) 36人学級 (中学1年生) 30人学級 (中学2、3年生) 33人学級	(小学1、2年生) 33人以上の学級に非常勤講師配置 (小学5、6年生) 36人学級 (中学1年生) 30人学級 (中学2、3年生) 33人学級	(小学1、2年生) 33人以上の学級に非常勤講師配置 (小学5、6年生) 36人学級 (中学1年生) 30人学級 (中学2、3年生) 33人学級	達成
2	「福井型コミュニティ・スクール」の実施校数(小中学校)(※)	133校	全小中学校(291校)	全小中学校(289校)	全小中学校(283校)	全小中学校(279校)	全小中学校(279校)	全小中学校(279校)	達成
3	学力の向上 県学力調査で「授業が分かる」と答える児童・生徒の割合	—	小学校 77.3% 中学校 57.1%	小学校 76.9% 中学校 56.5%	小学校 77.2% 中学校 57.8%	小学校 80%以上 中学校 60%以上	小学校 77% 中学校 57% 【見込み】	小学校 80%以上 中学校 60%以上	達成困難
4	英語授業時間の半分以上英語を使用する学校の割合(中学校3年生)	39.5%	43.4%	48%	49%	50%以上	50% 【見込み】	50%以上	達成可能
5	小中学校における不登校児童・生徒の割合	(小学校) 0.32% (160人) (中学校) 2.49% (626人)	(小学校) 0.38% (183人) (中学校) 2.64% (665人)	(小学校) 0.32% (153人) (中学校) 2.61% (655人)	(小学校) 0.34% (160人) (中学校) 2.54% (637人)	(小学校) 0.30%以下 (140人以下) (中学校) 2.45%以下 (600人以下)	(小学校) 0.30% (140人) 【見込み】 (中学校) 2.45% (600人) 【見込み】	(小学校) 0.30%以下 (140人以下) (中学校) 2.45%以下 (600人以下)	達成可能
6	高校生の就職3年後の離職率	42.2%	44.8%	43.7%	40.9%	40%未満	39.4%	40%未満	達成
7	地場産学校給食の実施校数(※)	244校	245校	271校	285校	289校	289校	すべての学校給食実施校(289校)	達成
8	学校給食地場産食材利用率(重量ベース)	—	—	31.5%	35.4%	37%	37% 【見込み】	35% ⇒37%	達成可能
9	学校給食が好きな子どもの割合	63.4%	61.3%	64.1%	55.6%	80%	80% 【見込み】	80%	達成可能
10	[文化] 県立音楽堂等で第一級の芸術・文化を直接体験する子ども(小・中・高校生)の数	4万6千人/年	5万8千人/年	6万人/年	7.5万人/年	6.5万人/年	6.5万人/年 【見込み】	5万人/年 ⇒6.5万人/年	達成可能
11	県立図書館の図書貸出冊数	86万1千冊/年	83万5千冊/年	85万6千冊/年	89万4千冊/年	90万冊/年	90万冊/年 【見込み】	90万冊/年	達成可能
12	[教育] 大学連携リーグによる連携研究件数(新規採択件数)	—	12件	2年間で22件 (20年度10件)	3年間で34件 (21年度12件)	4年間で40件 (22年度6件)	4年間で42件 (22年度8件)	4年間で20件 ⇒4年間で40件	達成
13	[スポーツ] 日本体育協会が公認する上級指導員、上級コーチ数	91人	85人	88人	93人	120人以上	125人 【見込み】	120人以上	達成可能
14	総合型地域スポーツクラブ数	10クラブ	13クラブ	17クラブ	18クラブ	20クラブ	20クラブ 【見込み】	17クラブ ⇒20クラブ	達成可能
15	[女性の活躍・安心] 女性の活躍を積極的に促進する企業数	—	22社	2年間で37社 (20年度15社)	3年間で50社 (21年度13社)	4年間で60社 (22年度10社)	4年間で60社 (22年度10社) 【見込み】	4年間で55社 ⇒4年間で60社	達成可能
16	女性に配慮した診療を行う病院または診療所数	4か所	6か所	8か所	11か所	15か所	15か所 【見込み】	15か所	達成可能
17	[子育て] 放課後子どもクラブ実施校区数(※)	184校区	191校区	195校区	195校区 (205校区中)	203校区 (203校区中)	203校区 (203校区中)	全小中学校区 (203校区)	達成
18	すみずみ子育てサポート事業利用者数	23,007人/年	28,627人/年	44,540人/年	44,978人/年	45,000人/年	45,000人 【見込み】	28,000人/年 ⇒45,000人/年	達成可能
19	ママ・ファースト運動協力店舗数	—	705店舗	822店舗	1,814店舗	1,900店舗	2,020店舗 【見込み】	1,000店舗 ⇒1,900店舗	達成
20	毎日家族と一緒に夕食を食べる家庭の割合	—	—	65%	—	70%	70% 【見込み】	70%	達成可能
21	一般事業主行動計画策定企業数(従業員10~300人)	253社	297社	450社	516社	550社	550社 【見込み】	330社 ⇒550社	達成可能
22	出会い・交流イベント参加により出会いの機会を得る人数	770人/年	1,310人/年	1,721人/年	1,915人/年	3,000人/年	2,400人/年 【見込み】	1,200人/年 ⇒3,000人/年	達成困難
23	歩行者等の安全な通行を確保する必要性の高い「あんしん歩行エリア」内の歩道延長	累計28km	累計31km	累計35km	累計38km	累計40km	累計40km 【見込み】	累計40km	達成可能
24	[健康・長寿] 食育に関心のある人の割合	77%	85.6%	87.2%	89.5%	90%	90% 【見込み】	90%	達成可能
25	福井県版HACCP認証施設の増加	30施設	45施設	52施設	67施設	75施設	76施設 【見込み】	75施設	達成可能
26	県民が住宅に満足を感じる割合	60% (平成15年度)	66%	67%	72%	74%以上	74%以上 【見込み】	70%以上 ⇒74%以上	達成可能
27	[医療] がん検診受診者数(各がん検診受診者の合計)	416千人/年	444千人/年	472千人/年	527千人/年	625千人/年	625千人/年 【見込み】	625千人/年	達成可能
28	[健康・長寿] 高齢者の元気生活率(※)	(75~79歳) 88.5% (80~84歳) 75%	(75~79歳) 88.8% (80~84歳) 76.3%	(75~79歳) 89.0% (80~84歳) 77.0%	(75~79歳) 89.2% (80~84歳) 76.5%	(75~79歳) 約90% (80~84歳) 約80%	(75~79歳) 90.0% 【見込み】 (80~84歳) 76.1% 【見込み】	(75~79歳) 約90% (80~84歳) 約80%	達成困難
29	運動習慣のある者の割合(推計人数)	(男性) 27.3% (85千人) (女性) 28.5% (98千人)	—	—	21年度の調査結果 (男性) 38.5% (女性) 30.0%	(男性) 40%以上 (120千人以上) (女性) 35%以上 (120千人以上)	(男性) 40% 【見込み】 (女性) 35% 【見込み】	(男性) 40%以上 (120千人以上) (女性) 35%以上 (120千人以上)	達成可能
30	喫煙率(推計人数)	(男性) 42.0% (女性) 6.2%	—	—	21年度の調査結果 (男性) 36.5% (女性) 8.5%	(男性) 35%以下 (女性) 4%以下	(男性) 35% 【見込み】 (女性) 4% 【見込み】	(男性) 35%以下 (女性) 4%以下	達成可能
31	こころの健康検査チェック受診者	—	ストレスチェック票、判断マニュアル等の開発	62,140人	20年度~21年度で 155,314人 (21年度93,174人)	20年度~22年度で 28万人 (22年度124,686人)	20年度~22年度で 28万人 (22年度124,686人) 【見込み】	20年度~22年度で 28万人	達成可能
32	[医療] 新たな医師確保対策による医師充足数	—	4人	2年間で9人 (20年度5人)	3年間で14人 (21年度5人)	4年間で20人 (22年度6人)	4年間で22人 (22年度8人) 【見込み】	4年間で20人	達成

	指標名	18年度の現状	19年度の現状	20年度の現状	21年度の現状	22年度の目標	22年度の現状(見込み)	22年度末までの目標	達成見込
33	[健康・長寿] 介護施設に真に入所を必要とする待機者数(※)	待機者ゼロ	待機者ゼロ	待機者ゼロ	待機者ゼロ	待機者ゼロを維持	待機者ゼロ【見込み】	待機者ゼロを維持	達成可能
34	在宅介護サービス利用者数	18,000人	18,984人	20,115人	21,340人	22,000人	22,200人【見込み】	22,000人	達成可能
35	[福祉] ボランティア活動の年間行動者率(推計人数)	36.6%(255千人)	—	48.1%(333千人)	54.5%(377千人)	55%以上(380千人)	55%【見込み】	50%以上(350千人)⇒55%以上(380千人)	達成可能
36	授産資金(月收入)の倍増(※)	15,500円	18,200円	20,800円	22,200円	30,000円	27,000円【見込み】	30,000円	達成困難
37	障害者グループホーム・ケアホームへの入居者数	302人	363人	446人	569人	630人	642人【見込み】	550人⇒630人	達成可能
38	ハートフル専用パーキングを設けている施設数	—	456施設	596施設	710施設	800施設	800施設【見込み】	800施設	達成可能
39	[交通安全] 交通事故死者数	64人/年(平成18年)	60人/年(平成19年)	55人/年(平成20年)	54人/年(平成21年)	60人/年以下(平成22年)	38人/年【平成22年12月16日現在】	60人/年以下	達成可能
40	[防災] 民間事業者等との防災協定数	23社	47社	49社	51社	51社	51社	35社⇒51社	達成
41	必要な治水対策が完成する河川数	(25河川改修中)	1河川改修完了	2年間で3河川改修完了(20年度2河川改修完了)	3年間で6河川改修完了(21年度3河川改修完了)	4年間で7河川改修完了(22年度1河川改修完了)	4年間で7河川改修完了(22年度1河川改修完了)【見込み】	4年間で7河川改修完了	達成可能
42	洪水、土砂災害ハザードマップの作成	4市町	11市町	13市町	17市町(全市町)	17市町(全市町)	17市町(全市町)	17市町(全市町)	達成
43	土砂災害対策を実施する箇所	(162か所整備中)	41か所整備	2年間で63か所整備(20年度22か所整備)	3年間で86か所整備(21年度23か所整備)	4年間で100か所整備(22年度14か所整備)	4年間で107か所整備(22年度21か所整備)【見込み】	4年間で100か所整備	達成可能
44	消雪設備の整備延長	276km	286km	294km	302km	310km	310km【見込み】	310km	達成可能
【元気な産業】 36項目									
45	[産業活性化] 産学官の連携・協力による次世代技術産業の売上額	100億円	165億円	170億円	164億円	300億円	253億円【見込み】	300億円	達成困難
46	[企業誘致] 県内に立地する企業数	36社/年(平成18年)	26社/年(平成19年)	2年間で52社(20年度26社)	3年間で68社(21年度16社)	4年間で100社(22年度32社)	4年間で88社(22年度20社)【見込み】	4年間で100社	達成困難
47	テクノポート福井における新規立地および設備投資	17社/年	13社/年	2年間で26社(20年度13社)	3年間で34社(21年度8社)	4年間で40社(22年度6社)	4年間で40社(22年度6社)【見込み】	4年間で40社	達成可能
48	テクノポート福井における新規雇用者数	125人/年	171人/年	2年間で292人(20年度121人)	3年間で358人(21年度66人)	4年間で400人(22年度42人)	4年間で400人(22年度34事業)【見込み】	4年間で400人	達成可能
49	[産業活性化] 「ふくい」の逸品創造ファンド等により創出する新規事業数(※)	—	14事業	2年間で41事業(20年度27事業)	3年間で85事業(21年度44事業)	4年間で110事業(22年度25事業)	119事業(22年度34事業)【見込み】	4年間で100事業⇒4年間で110事業	達成
50	眼鏡の製造品出荷額等(眼鏡技術を活かした新たな分野を含む)	約780億円/年(平成17年)	791億円/年	801億円/年	620億円/年	1,000億円/年	590億円/年【見込み】	1,000億円/年	達成困難
51	眼鏡枠の生産全体に占める自社ブランド等の生産比率(金額ベース)	約20%(平成17年)	22.5%	26%	26%	30%	30%【見込み】	30%	達成可能
52	繊維製品の衣料分野での自販率の割合	約45%(平成16年)	48%(平成18年)	51%	52%	52%	53%【見込み】	50%超	達成可能
53	繊維製品生産全体に占める新分野展開(非衣料)への割合	約40%(平成17年)	43%	43%	43%	50%	47%【見込み】	50%	達成困難
54	県の支援により東アジアに輸出を行う企業数	155社(平成17年)	10社	2年間で24社(20年度14社)	3年間で40社(21年度16社)	4年間で56社(22年度16社)	4年間で56社創出【見込み】	4年間で50社創出⇒4年間で56社創出	達成可能
55	東アジアへの県内企業の輸出額	1,350億円(平成18年)	1,386億円	1,323億円	1,060億円(推計)	1,750億円	1,060億円【見込み】	1,750億円	達成困難
56	[雇用] 労働力人口(※)	44万3千人(平成18年)	44万1千人(平成19年)	43万8千人(平成20年)	44万3千人(平成21年)	44万人(平成22年)	44万人【見込み】	44万人を維持	達成可能
57	ジョブカフェ利用の就職人数	1,396人/年	1,599人/年	2年間で3,438人(20年度1,839人)	3年間で5,330人(21年度1,892人)	4年間で7,000人(22年度1,670人)	4年間で7,000人(22年度1,670人)【見込み】	4年間で7,000人	達成可能
58	正社員転換の実績(過去3年以内)がある企業(従業員5人以上)の割合	—	20.8%	17.1%	25.1%	30%	30%【見込み】	30%	達成可能
59	[商業] 計画に基づき活力を取り戻す商店街数	—	2か所	4か所	6か所	8か所	8か所	8か所	達成
60	[観光] 観光客入込数(※)	985万人/年	993万人/年	1,026万人/年	1,044万人/年	1,060万人/年	1,064万人/年【見込み】	1,000万人/年⇒1,060万人/年	達成可能
61	観光消費額	825億円/年	809億円/年	840億円/年	824億円/年	900億円/年	840億円/年【見込み】	900億円/年	達成困難
62	県外からの教育旅行(体験学習・合宿等)者数	6,627人/年	9,889人/年	12,200人/年	16,366人/年	20,000人/年	40,000人/年【見込み】	10,000人/年⇒20,000人/年	達成可能
63	外国人宿泊客数	—	26,580人/年	21,790人/年	16,010人/年	53,000人/年	22,000人/年【見込み】	53,000人/年	達成困難
64	コンベンションの開催回数	173回/年	180回/年	180回/年	196回/年	210回/年	210回【見込み】	200回/年⇒210回/年	達成可能
65	[産業活性化] 共同研究等により創出される原子力・エネルギー関連技術分野の新製品数	(1件)(平成17~18年度)	4件	2年間で6件(20年度2件)	3年間で10件(21年度4件)	4年間で14件(22年度4件)	4年間で14件(22年度4件)【見込み】	4年間で10件⇒4年間で14件	達成可能
66	[企業誘致] 嶺南地域に新たに立地する企業数	(15社)(平成17~18年)	7社(平成19年)	2年間で12社(20年5社)	3年間で17社(21年5社)	4年間で20社(22年3社)	4年間で22社(22年5社)【見込み】	4年間で20社	達成可能
67	[農業] 認定農業者等への農地集積率(※)	40%	45%	50.2%	55.02%	60%以上	60%【見込み】	60%	達成可能
68	園芸産出額	100億円/年	107億円/年	112億円/年	116億円/年	120億円/年	120億円/年【見込み】	120億円/年	達成可能

	指標名	18年度の現状	19年度の現状	20年度の現状	21年度の現状	22年度の目標	22年度の現状(見込み)	22年度末までの目標	達成見込
69	地域農業サポート体制に基づいて農業を行う集落数	—	7集落	338集落	573集落	660集落	676集落【見込み】	360集落⇒660集落	達成可能
70	県の支援による新規就農者数	(32人/年)	42人/年	2年間で82人(20年度40人)	3年間で122人(21年度40人)	4年間で162人(22年度40人)	4年間で162人(22年度40人)【見込み】	4年間で160人⇒4年間で162人	達成可能
71	農産物直売所販売額	11.2億円/年	13.7億円/年	15.0億円/年	17.3億円/年	18億円/年	18億円/年【見込み】	16億円/年⇒18億円/年	達成可能
72	エコ農産物認定面積	—	1,727ha	2年間で2,360ha(20年度633ha)	3年間で3,496ha(21年度1,136ha)	4年間で11,000ha(22年度7,504ha)	4年間で11,000ha(22年度7,504ha)【見込み】	4年間で11,000ha	達成可能
73	エコ・グリーンツーリズムによる交流人口	18万人/年	19.4万人/年	20.1万人/年	21.1万人/年	22万人/年	22万人/年【見込み】	22万人/年	達成可能
74	県の支援による都市圏への新たな取引件数	—	22件	2年間で33件(20年度11件)	3年間で44件(21年度11件)	4年間で55件(22年度11件)	4年間で55件(22年度11件)【見込み】	4年間で50件⇒4年間で55件	達成可能
75	県産食材を活用した新商品開発による販売額	11百万円/年	23百万円/年	44百万円/年	50.1百万円/年	55百万円/年	55百万円/年【見込み】	30百万円/年⇒55百万円/年	達成可能
76 [林業]	全国植樹祭および県民運動等への県民の総参加	(2.8万人/年)	4.6万人/年	2年間で10.5万人(20年度5.9万人)	3年間で17.9万人(21年度7.4万人)	4年間で22万人(22年度4.1万人)	22万人(22年度4.1)【見込み】	4年間で15万人参加⇒4年間で22万人参加	達成可能
77	県産材利用率	55.6%(平成17年)	65%	63%	74%	75%	75%【見込み】	60%⇒75%	達成可能
78	「山ぎわ」対策により鳥獣被害を防止する集落数	—	105集落	216集落	324集落	400集落	415集落【見込み】	400集落	達成可能
79	鳥獣害による農作物被害面積	456ha	431ha	430ha	446ha	390ha	390ha【見込み】	390ha	達成可能
80 [水産業]	漁家民宿への宿泊客数	33万人/年	33万人/年	34万人/年	36.2万人/年	37万人/年	37万人/年【見込み】	37万人/年	達成可能

【元気な県土】 11項目

81 [交通]	舞鶴若狭自動車道の事業進捗	小浜西・敦賀間用地買収98%	用地買収99%	用地買収99.7%	用地買収100%	用地買収100% 工事促進(小浜西・小浜間)舗装工事着手(小浜・敦賀間)敦賀JCT工事着手	用地買収100% 工事促進(小浜西・小浜間)舗装工事着手(小浜・敦賀間)敦賀JCT工事着手	用地買収100%	達成
82	中部縦貫自動車道の整備	越坂トンネル、永平寺西・東間開通3.2km区間	勝山・大野間の用地買収約99%	上志比・勝山間の開通7.9km大野東・和泉間の新規事業採択14km区間	福井北・大野間用地買収94%大野東・和泉間の現地調査	支障物件移設着手(福井北・永平寺西間)工事促進(永平寺東・上志比間)(勝山・大野間)地元設計協議着手(大野東・和泉間)	支障物件移設着手(福井北・永平寺西間)工事促進(永平寺東・上志比間)(勝山・大野間)地元設計協議着手(大野東・和泉間)	未着工区間の着工(福井北・永平寺西間)(永平寺東・上志比間)(大野東・和泉間)	達成
83	福井空港外来機利用状況(年間着陸回数)	1,374回/年	1,357回/年	1,348回/年	1,542回/年	1,600回/年	1,600回/年【見込み】	1,600回/年(約2割増)	達成可能
84 [まちづくり]	コンパクトシティを目指し、郊外での大規模集客施設立地を規制する市町数	—	5市	5市	5市	6市	6市【見込み】	6市町	達成可能
85 [交通]	県内公共交通機関利用者数	2,230万人/年	2,222万人/年	2,231万人/年	2,146万人/年	2,250万人/年	2,250万人/年【見込み】	2,250万人/年(20万人増)	達成可能
86 [社会資本整備]	県内の主要道路の供用路線数	—	3路線	2年間で11路線(20年度8路線)	3年間で17路線(21年度6路線)	4年間で21路線(22年度4路線)	4年間で21路線(22年度4路線)	4年間で14路線供用開始⇒4年間で21路線供用開始	達成
87	渋滞を緩和する主要交差点数	12か所(平成15~18年度)	9か所	2年間で22か所(20年度13か所)	3年間で32か所(21年度10か所)	4年間で40か所(22年度8か所)	42か所【見込み】	4年間で34か所⇒4年間で40か所	達成可能
88	河川での草刈、清掃、花の植栽を行う川守参加者数	73,000人	74,170人	74,580人	75,053人	75,500人	75,500人【見込み】	75,000人⇒75,500人	達成可能
89	歩道内の清掃、除草、花の植栽、道路の危険箇所等の情報提供を行う道守参加者数	176人	5,620人	10,290人	13,724人	15,000人	15,050人【見込み】	10,000人⇒15,000人	達成
90 [交通]	敦賀港の外貨定期コンテナ数	8,104TEU/年(平成18年)	5,555TEU/年(平成19年)	6,000TEU/年(平成20年)	7,991TEU/年(平成21年)	15,000TEU/年(平成22年)	15,000TEU/年(平成22年)【見込み】	15,000TEU/年	達成可能
91	福井港の外航船入航隻数	192隻/年(平成18年)	208隻/年(平成19年)	204隻/年(平成20年)	112隻/年(平成21年)	220隻/年(平成22年)	110隻/年(平成22年)【見込み】	220隻/年	達成困難

【元気な県政】 15項目

92 [福井ブランド]	首都圏において福井県を訪れたいと思う人の割合	—	41.4%	39.1%	55.5%	60%	60%【見込み】	48%⇒60%	達成可能
93	県立恐竜博物館の入館者数	29万人/年	38万人/年	39.3万人/年	43.8万人/年	47万人/年	50万人/年【見込み】	40万人/年⇒47万人/年	達成可能
94 [Uターン・Iターン]	福井で新たな生活を営む「新ふくい人」(Uターンセンター等を通じて福井へ移住する者)	99人/年	170人/年	2年間で367人(20年度197人)	3年間で579人(21年度212人)	4年間で800人(22年度221人)	4年間で820人【見込み】	4年間で500人⇒4年間で800人	達成可能
95	ふるさとふくいに帰住する人の数	—	—	908人/年	2年間(H20~21)で1,925人(21年度1,017人)	3年間(H20~22)で2,975人(22年度1,050人)	3年間で2,980人【見込み】	3年間(H20~22)で2,860人⇒3年間(H20~22)で2,975人	達成可能
96 [環境]	温室効果ガス排出量の削減	平成2年度比で4.8%増(平成16年度)	平成2年度比で5.3%増(平成17年度)	平成2年度比で3.3%増(平成18年度)	平成2年度比で3.1%増(平成19年度)	平成2年度比で1.0%増(平成20年度)	平成2年度比で1.3%減(平成20年度)	平成2年度比で3%削減	達成可能
97	環境協定の新規締結事業所数	2事業所	5事業所	7事業所	9事業所	10事業所	10事業所	10事業所	達成
98	1人1日当たりごみ排出量(※)	979g(平成17年度)	981g(平成18年度)	949g(平成19年度)	925g(平成20年度)	940g(平成21年度)	906g(平成21年度)【速報値】	940g	達成可能
99	三方五湖周辺でのふゆみずたんぼ・水田魚道実施地区数	1地区	2地区	5地区	5地区	6地区	7地区	5地区⇒6地区	達成
100	環境教育教材を活用した環境教育の実施学校数	—	—	—	214校	延べ434校(22年度220校)	延べ475校(22年度261校)	延べ400校⇒延べ434校	達成
101	子どもの自然体験(里海での船乗り)実施学級数	—	—	—	50学級	延べ100学級(22年度50学級)	延べ122学級(22年度72学級)	延べ100学級	達成

	指標名	18年度の現状	19年度の現状	20年度の現状	21年度の現状	22年度の目標	22年度の現状(見込み)	22年度末までの目標	達成見込
102	[景観] 里地里山の保全・活用計画に基づき活動を行う地区数	1地区	2地区	4地区	6地区	8地区	8地区	3地区 ⇒8地区	達成
103	ふくいの伝統的民家認定件数	130件	273件	454件	617件	750件	750件 【見込み】	700件 ⇒750件	達成可能
104	[情報基盤] 電子申請サービス利用件数	—	3,000件/年	5,502件/年	9,553件/年	10,000件/年	10,000件/年 【見込み】	10,000件/年	達成可能
105	県ホームページアクセス数(トップページ)	180万件/年	207万件/年	257万件/年	272万件/年	280万件/年	280万件/年 【見込み】	260万件/年 ⇒280万件/年	達成可能
106	携帯電話不感集落の解消	(不感集落91集落)	19集落解消	2年間で29集落解消 (20年度10集落解消)	3年間で35集落解消 (21年度6集落解消)	4年間で38集落解消 (22年度3集落解消)	4年間で40集落解消 【見込み】	4年間で25集落解消 ⇒4年間で38集落解消	達成可能
【行財政構造改革】 4項目									
107	市町振興プロジェクトの策定件数	—	7件 (7市町)	2年間で9件 (9市町) (20年度2件)	3年間で13件 (13市町) (21年度4件)	4年間で17件 (17市町) (22年度4件)	4年間で17件 (17市町) 【見込み】	17件 (全市町)	達成可能
108	職員数(一般行政部門) (19年度に行財政改革実行プランの改定を踏まえ見直し)	3,121人	3,067人	2,976人	2,935人	2,891人	2,891人 【見込み】	3,046人 ⇒2,891人 (平成23年4月)	達成可能
109	財政指標 ・財政調整基金等の年度末残高 ・県債の年度末残高 ・地方財政健全化法に示す健全化判断比率 実質赤字比率 連結実質赤字比率 実質公債費比率 将来負担比率	333億円 7,808億円 (臨財財除き6,445億円)	237億円 7,990億円 (臨財債除き6,487億円)	245億円 8,220億円 (臨財債除き6,556億円)	224億円 8,546億円 (臨財債除き6,509億円)	— 8,815億円 (臨財除き6,346億円) 【見込み】	210億円 【見込み】	100億円以上 平成22年度までに残高が増加しない財政構造を達成 早期健全化基準を達成	達成可能
110	政策推進枠予算の確保(一般財源) (※)	—	16億円	2年間で60億円 (20年度44億円)	3年間で104億円 (21年度44億円)	4年間で150億円 (22年度46億円)	4年間で150億円 (22年度46億円) 【見込み】	4年間で150億円	達成可能

注1 「指標名」欄の「(※)」は、福井新元氣宣言に目標数値が記載されている指標。
注2 「22年度末までの目標」欄の「⇒」は、当初設定した目標を上方修正したもので、その変更状況を示している。

【集計】
達成 21
達成可能 77
達成困難 12
計 110
達成率 89.1%